

会員月例研究会

「混沌の時代を多様な視点で乗り切る」  
～コロナ後に必要なリーダーシップと  
ネットワークとは何か～

日時：2021年2月18日(木) 15:30～17:00

ご案内

コロナ禍の影響により、いままで女性活躍の推進企業においては、この1年間でどのように対応してきたのでしょうか。リモートワークが定着、時間労働からアウトプットに対する評価へ、また状況に応じて複数の業務に対応する環境変化もあげられます。

そして今後は仕事との両立、新しい働き方からキャリアの確立をどうすればいいのでしょうか。このような状況下、女性ワーカーを取り巻く労働環境では、政府は女性活躍推進として2020年に女性管理職の目標を30%から30年までの可能な限り早期にと先送りとします。現在、女性の割合は14.8%です(令和2年男女共同参画白書)。

またジェンダー・ギャップ指数(世界各国での男女間の不均衡を示すランキング指標)も153カ国中、121位と、先進国では最低レベルです(Global Gender Gap Report 2020)。

さらにはアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)を乗り越え、誰もが活躍を望める社会は実現できるのでしょうか。

ビジネスの現場では自ら昇進を避ける動きもあり、結局は一過性で何も変わらず、不満の声も聞かれます。

これからの女性リーダーはどのように変化していき、仕事や働くための引き出しを増やすため、視野を広げるヒントとは。そしてコロナ禍で人口減少、高齢化社会の時代に、組織とリーダーシップ、ネットワークなどへ、新たな取り組み方法のポイントとは。さらには女性スタッフが社内副業や新たに事業展開や起業するときの注意点のアドバイスには何かあるのでしょうか。

今回の会員月例研究会では、フォーラム形式(2名の女性リーダーとコーディネーター)により、活発な意見交換をはかります。

会場

J A 共済ビル カンファレンスホール

(東京都千代田区平河町 2-7-9 J A 共済ビル 1F <http://www.jankb.co.jp/>  
有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅 4番出口 徒歩2分)

(会場参加、並びにライブ中継の選択制)

(会場参加の際は、ソーシャルディスタンス対応にて、必ずマスク着用にてご参加ください)

参加費

会員=無料 一般=15,000円(消費税別)



日本生産性本部

JAPAN PRODUCTIVITY CENTER